

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
普通預金	茨城県信用組合		普通預金 施設建築資金及び運転資金			50,480,087
	流動資産合計			0	0	50,480,087
2 固定資産						
(1) 基本財産						
	基本財産合計			0	0	0
(2) その他の固定資産						
投資有価証券	茨城県信用組合		組合出資金			10,000
	その他の固定資産合計			0	0	10,000
	固定資産合計			0	0	10,000
	資産合計			0	0	50,490,087
II 負債の部						
1 流動負債						
役員等短期借入金	理事長より借入					438,149
	流動負債合計			0	0	438,149
2 固定負債						
	固定負債合計			0	0	0
	負債合計			0	0	438,149
	差引純資産			0	0	50,051,938

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しえないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載すること。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）についてのみ「減価償却累計額」欄を記載すること。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。